

梅雨期の交通事故防止について

岡山県交通安全対策協議会

梅雨期には、天候不順に伴う交通渋滞やスリップ、視界不良等による交通事故の発生が懸念されるところであります。また、自転車利用者や歩行者にも十分な安全意識が求められます。

会員各位におかれましては、下記広報文（例）を参考に、従業員に対し交通事故の防止を積極的に呼びかけていただくようお願いいたします。

記

【梅雨期の交通事故防止】

○実施期間 令和2年6月1日～7月31日

梅雨期の交通事故防止広報文（例）

1. 運転はゆとりをもって！

雨の日は交通渋滞が起こりやすく、気分がイライラしがちですが、そのような状態で運転するのは非常に危険です。いつも以上に心と時間にゆとりを持って、安全運転を心がけましょう。また、雨で濡れた道路はスリップしやすく、停止距離も長くなるため、スピードは控えめに、車間距離も十分とりましょう。

2. ライトは早めに点灯しましょう

雨の日は、昼間でも薄暗く、視界も狭くなりがちです。また、歩行者は傘をさしているため、車の接近に気づかないことがあります。昼間であってもライトを点灯し、周りに自分の存在をアピールしましょう。

3. 心と車の状態をチェック！

天候不順で体調を崩したときや、気分が優れないときは、できるだけ運転を控えましょう。また、タイヤの溝や空気圧、ワイパーの状態など、車の点検も運転前に十分に行いましょう。

4. 自転車の運転も十分注意して！

自転車の傘さし運転は法令違反であるだけでなく、傘が視界をさえぎったり、片手運転でハンドルやブレーキ操作が不安定になったりします。自分だけでなく、周囲の歩行者や車にも危険を及ぼすため、絶対にやめましょう。また、カッパを着用すると視界が狭くなるため、ふだん以上に安全運転を心がけましょう。

5. 反射材などで自分をアピール！

雨の日は、自動車から歩行者や自転車が見えにくくなります。道路を横断する際は、左右の安全をしっかりと確認しましょう。また、夕暮れ時や夜間に外出するときは、明るい色の服装や反射材を身に付け、自転車はライトを点けて、自分の存在をアピールしましょう。